

東海経済レポート

（2017 年 3 月）

～企業部門、家計部門ともに緩やかな回復基調を維持～

【足元の経済情勢と当面の見通し】

- ◇ 東海経済の景況感は、緩やかな回復を続けている。企業部門は、設備投資が非製造業を中心に増勢を保っているうえ、輸出も 2 月実績が 15 ヶ月ぶりに前年比プラスに転化。家計部門は、引き締まった雇用環境の下、自動車販売や小売売上高など、堅調さを維持している。
- ▶ 生産は、1 月の鉱工業生産指数が前月比▲2.0%と 2 ヶ月ぶりに低下。電子部品・デバイスが同+12.4%と再び増加に転じたものの、他業種は総じてマイナスとなった。主力の輸送機械が同▲5.5%と 2 ヶ月ぶりに低下したほか、電気機械の同▲10.1%、生産用機械の同▲1.6%などが減少となった。
 - ▶ 設備投資は、大企業の 10-12 月期の投資額が前年比+5.9%と 9 四半期連続の増加。製造業は 2 四半期連続で減少となったものの、非製造業が 3 四半期連続プラスで全体を牽引。先行指標とされる金属工作機械の 1 月の国内受注額は前年比+0.9%と 2 ヶ月連続で増加。
 - ▶ 輸出額（円ベース）は、2 月に前年比+8.8%と 15 ヶ月ぶりにプラス転化。相手国別では、中国向けが同+23.5%と大幅に増加したほか、米国向けが同+4.3%、EU 向けが同+5.7%など、中東向けを除き軒並みプラスとなった。品目別では、大きく伸びた自動車部品、自動車のほか、多くの品目で増加となった。
 - ▶ 雇用は需給の引き締まった状況が継続。1 月の有効求人倍率は、愛知県が 1.70 倍と 2008 年 7 月以来となる高水準を維持、岐阜県も 1.70 倍と 2 ヶ月ぶりに上昇。三重県は 1.46 倍と 2 ヶ月ぶりに低下したものの、引き続きリーマン・ショック後の最高水準域で推移中。
 - ▶ 個人消費は、1 月の小売主要 3 業態の販売が前年比+0.7%と、4 ヶ月連続で増加。前年比マイナスが続く百貨店に加え、スーパーも 2 ヶ月連続で減少したものの、コンビニの伸びが 3 業態合算の販売額を牽引。また、1 月の新車販売台数は同+1.1%と、7 ヶ月連続での増加となった。
 - ▶ 住宅着工は、1 月に年率換算で 7.3 万戸と、前年比+1.7%の増加。持家と分譲が減少となったものの、貸家が再び前年比 2 桁増となり、全体を牽引。

【生産①】

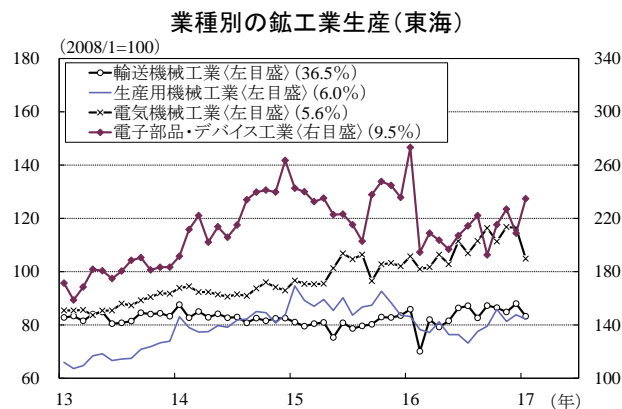
1月の鉱工業生産指数は前月比▲2.0%と2ヵ月ぶりに低下。



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【生産②】

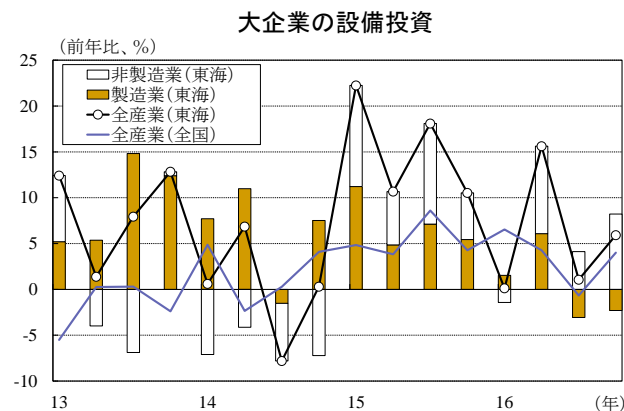
業種別では、主力の輸送機械が前月比▲5.5%と2ヵ月ぶりに低下し、全体を下押し。



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
2.()内の数値は、業種毎の付加価値額の比率(平成22年基準。中部経済産業局算出)
(資料)中部経済産業局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【設備投資】

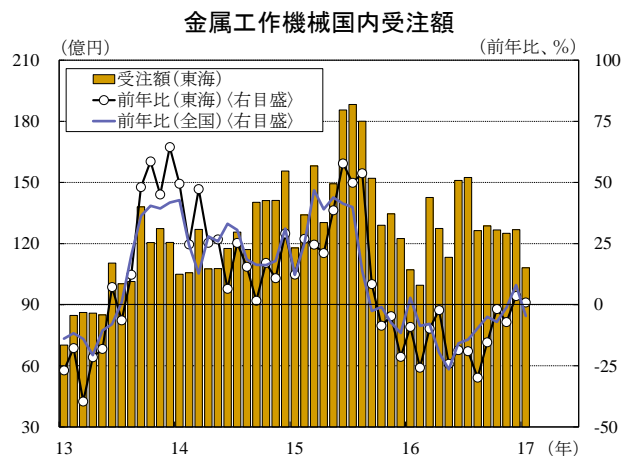
10-12月期の大企業の設備投資は、前年比+5.9%と9四半期連続で増加。非製造業の2桁増が牽引。



(注)1.『東海』は愛知、岐阜、静岡、三重の4県。
2.資本金10億円以上の企業を対象。
3.設備投資額はソフトウェアへの投資を除いた金額。
(資料)東海財務局統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【金属工作機械受注(国内)】

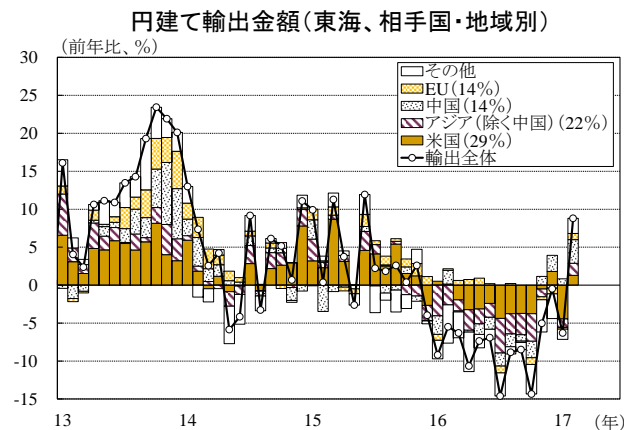
金属工作機械の国内受注額は1月に前年比+0.9%と、2ヵ月連続でプラス。



(注)『東海』は中部経済産業局管内の主要8社。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【輸出】

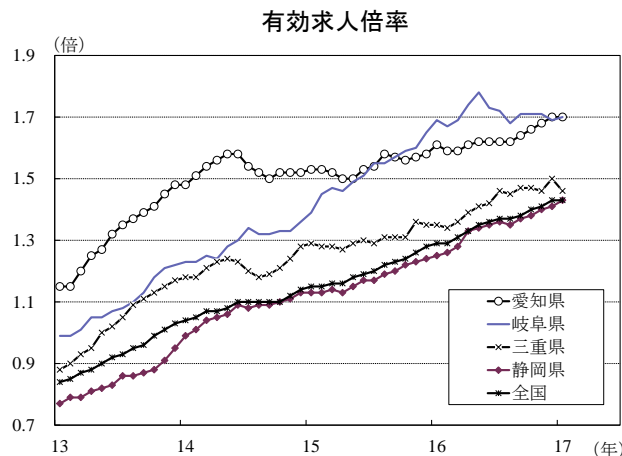
2月の輸出額(円ベース)は、前年比+8.8%と15ヵ月ぶりにプラス転化。



(注)1.『東海』は名古屋税関管内(愛知、岐阜、三重、静岡、長野)。
2.()内の数値は2016年輸出総額に占めるシェア。
(資料)名古屋税関統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【雇用】

1月の有効求人倍率は愛知県が前月と同じ1.70倍と、2008年7月以来の高水準。岐阜県も再び上昇。

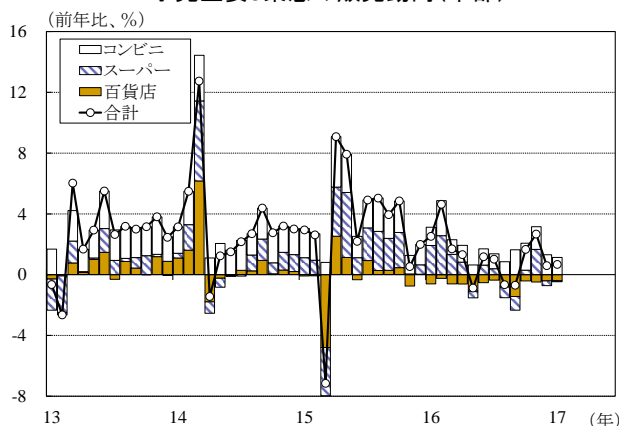


(注)『有効求人倍率』は、「有効求人数」を「有効求職者数」で除したものの。
(資料)厚生労働省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【個人消費】

1月の小売主要3業態の販売は前年比+0.7%と4ヵ月連続で増加。コンビニの伸びが全体を牽引。

小売主要3業態の販売動向(中部)

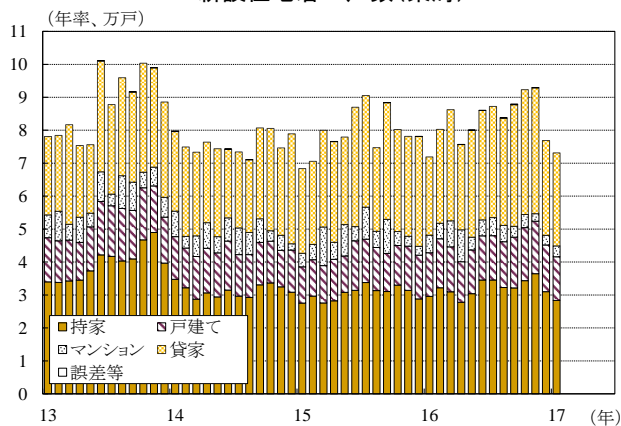


(注)『中部』は愛知、岐阜、三重、富山、石川の5県。
(資料)中部経済産業局統計等より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【住宅投資】

1月の住宅着工戸数は年率換算で7.3万戸と、前年比+1.7%。貸家が再び同2桁増となり、全体を牽引。

新設住宅着工戸数(東海)

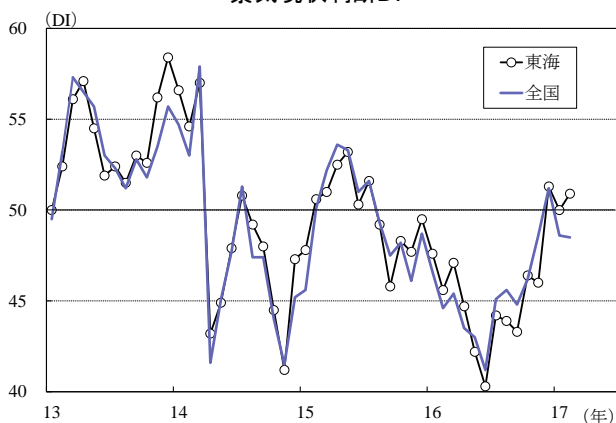


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重の3県。
(資料)国土交通省統計より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【景気ウォッチャー調査】

2月の景気現状判断DIは50.9に上昇。好不調分かれ目の50を再び上回り、3ヵ月連続で全国以上となった。

景気現状判断DI

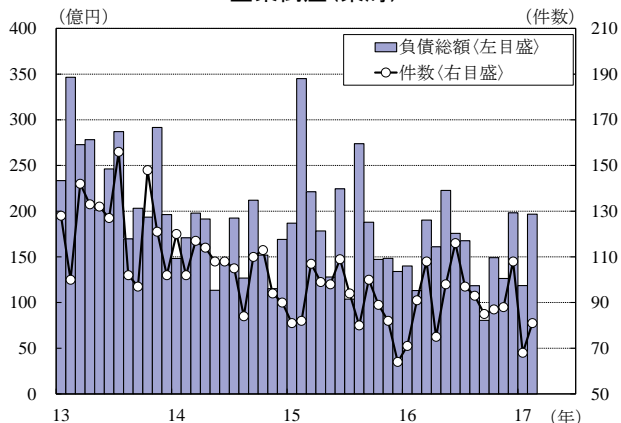


(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡の4県。
(資料)内閣府資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【倒産件数】

2月の企業倒産件数は81件、前年比▲11.0%の減少。負債総額は同+73.9%の増加。

企業倒産(東海)



(注)『東海』は愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県。
(資料)東京商工リサーチ資料より三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【原油価格】

WTI先物は、米国の原油在庫水準の高さを材料に下落。1バレル50ドルを下回って推移。

原油価格

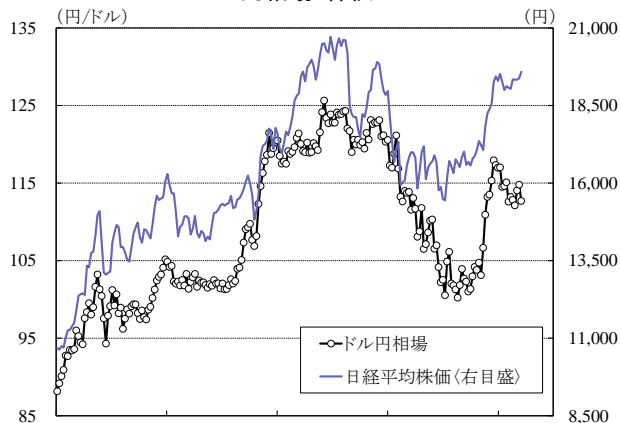


(注)『原油価格』はWTI先物。
(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

【円相場・株価】

円相場は、トランプ政権の政策実現への懸念増大等を背景にドル安・円高が進行。円高を受け株価も下落。

円相場・株価



(資料)Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

照会先：三菱東京UFJ銀行 経済調査室（名古屋）

中村 健彦 takehiko_nakamura@mufg.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。